



古代の計帳の史料読解問題が出題された。

史料を利用して読解力と関連する歴史事項を問っている。

共通テスト

河合塾

第2問 問3

問3 リツさんは、年表の下線部⑤が、最初の本格的な戸籍とされていることを知った。そこで、日本古代の戸籍や計帳について調べてみた。次の史料は、正倉院に残る古代の計帳である。この史料に関して述べた後の文a～dについて、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 9

史料

課戸主從六位上於伊美吉子首年七十九 下野國薬師寺造司工
 嫡子於伊美吉豊人 年十四 小子
 男於伊美吉伊賀麻呂 年四十七 正丁 左下唇黒子
 女於伊美吉酒刀自売 年三十二 正女 左頬黒子
 (中略)
 戸主の奴大伴 年六十三 和銅七年逃
 奴尼麻呂 年六十一
 奴黒栖 年八
 奴小黒栖 年七
 婢乎売 年七十三 和銅七年逃
 天平五年七月十二日文を進むるは伊賀麻呂
 戸主於伊美吉子首手実 (注1) 天平五年 (七三三)
 去年の計帳に定むる良賤の口十五人 男六人 (注2) 奴四人
 今年の計帳に現に定むる良賤の大小口十五人 女四人 婢一人
 (注3) 不課口十四人 男五人 一人六位 四人小子
 女四人
 賤口五人 奴四人
 課口一人 婢一人
 現に輸す一人 正丁

- (注1) 手実：各戸から提出する申告書。
- (注2) 奴・婢：賤民。奴は男性、婢は女性。
- (注3) 不課口：調・庸等を負担する人を課口といい、負担しない人を不課口という。

- a この戸で、調・庸を納めるのは5人であることが分かる。
- b 計帳からは、年ごとの戸の人数の変動が分かる。
- c 逃亡した奴や婢は、計帳から削除されており、解放されたと考えられる。
- d 黒子の位置が記されているのは、本人を特定するためと考えられる。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

直前講習／突破

共通テスト本番突破テスト日本史B 第2問問2

問2 下線部④に関して、次の史料は、正倉院に残る平城京右京三条三坊の計帳の申告書である。この史料に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 8

史料

課戸主秦小宅牧床 年參拾捌 正丁 (注1) 左頬黒子 (注2)
 母韓人智努女 年陸拾 正女 (注3) 左頬疵
 男秦小宅虫麻呂 年捌 小子
 女秦小宅富女 年捌 小女
 弟秦小宅石床 年貳拾肆 正丁 養老七年八月逃
 妹秦小宅逆女 年貳拾貳 正女 同月逃
 妹秦小宅大宅女 年貳拾玖 正女 同月逃
 妹秦小宅小宅女 年貳拾捌 正女 左目上黒子
 妹秦小宅真櫛女 年貳拾漆 正女 同年逃
 妹秦小宅木葉 年貳拾伍 正女 同年逃
 妹秦小宅刀自女 年拾玖 小女 同年逃
 天平五年七月十一日文進 (注4) 智努女
 「正丁一」 (注5) 坊令 (注6) 大初位下尾張連牛養

- (注1) 正丁：21～60歳の男性。 (注2) 黒子：ほくろ。
- (注3) 正女：21～60歳の女性。 (注4) 文進：この文書を書いて進上する。
- (注5) 「正丁一」：この戸から正丁1人を雑徭に徴発することを示す役人のメモ。
- (注6) 坊令：右京三条三坊の役人。

- X この申告書には、性別とともに身体的特徴が記されている。
- Y この戸では、逃亡している者が多いので、調を賦課されるのは3人である。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
 ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

共通テスト・河合塾ともに古代の計帳の史料を利用し、読解力や関連する歴史事項についての理解を問っている。引用している史料は異なるが、双方の選択肢文を読み比べれば明らかのように、設問の視点は同一である。